

100億宣言

大一産業株式会社（卸売業）



主力商品（清掃機材や清掃用品）

○本社所在地：兵庫県神戸市中央区

○事業概要：業務用清掃用品・衛生対策

用品・店舗備品・機器の販売

○常時使用する従業員：115名

（2026年1月時点）

○現在の売上高：55億円

（2025年3月期）

○法人番号：5140001008924

○Web：

<https://www.daiichisangyo.co.jp>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
三村 武史

清掃・衛生を、社会を支える力へ。

私たち大一産業株式会社は、社会の安心・安全と人々の健康を支える基盤として、清掃・衛生・美観の向上を通じた「清潔な環境づくり」を使命としています。日本人が長年培ってきた清掃や衛生に対する意識と行動は、単なる作業ではなく、次の人の思いやり、環境を整える文化であり、世界に誇るべき価値であると私たちは考えています。

大一産業は、高品質な清掃・衛生用品の提供に加え、それらを最大限に活かすための運用・仕組み・サービスを組み合わせることで、施設や現場における「清潔な環境」の維持・向上を総合的に支援してきました。今後は、デジタル技術や新たなサービスモデルを積極的に取り入れながら、清掃・衛生分野における生産性向上と価値創出を加速させ、社会に必要とされ続ける企業として持続的な成長を目指してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

現行の清掃・衛生用品を中心とした物販事業については、DXによる営業力・提案力の強化により成長基盤を拡大します。あわせて、人材育成や清掃機器レンタルなどのサービス事業を立ち上げ、継続収益型の事業モデルへ転換します。これらの取組を展開することで、2035年に売上高100億円の成長を目指します。



課題

- ① 営業・業務プロセスのDX化の遅れ
- ② 製品単体販売からシステム提案への転換不足
- ③ 清掃・衛生分野における人材育成体制の未整備
- ④ 清掃機器の導入コストが高く、利用が進みにくい
- ⑤ 清掃・衛生分野における生産性向上の遅れ
- ⑥ 現場データの蓄積・活用が進んでいない
- ⑦ 新たなサービス型ビジネスモデルの確立不足

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・営業・業務のDX化による生産性向上
営業活動や業務管理をデジタル化し、属人化を解消するとともに、提案力と業務効率を高め、事業成長を支える基盤を強化する。
- ・清掃・衛生用品のシステム提案力の強化
用品単体の販売にとどまらず、現場課題に応じた組み合わせ提案を行い、付加価値の高いソリューション提供へ転換する。
- ・清掃・衛生人材の育成事業の展開
清掃・衛生分野における教育・研修プログラムを整備し、人材の定着や品質の標準化を通じて、業界全体の生産性向上に貢献する。
- ・清掃機器レンタル事業の立ち上げ
初期投資負担の軽減により高性能機器の導入を促進し、継続的な利用と安定収益を生み出す事業モデルを構築する。

実施体制

- ・代表取締役が事業全体を統括
事業方針の決定および進捗管理を行い、意思決定の迅速化を図る。
- ・各施策ごとに責任者を配置
DX推進、システム提案、人材育成、レンタル事業について、関係部門の責任者を中心とした推進体制を構築する。
- ・部門横断のプロジェクト体制を構築
営業・管理・現場部門が連携し、課題共有と改善を継続的に実施する。
- ・定期的な進捗確認と改善の実施
進捗状況を定期的に確認し、課題の早期発見と是正を行う。
- ・外部専門家との連携による実行力強化
ITベンダーや専門家と連携し、社内に不足する知見を補完する。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです